



Present
for you

ガバ
受験生

「共通テスト」 解法マニュアル

ABC



英語は絶対に裏切らない！！

2021年6月19日

島根県立松江北高等学校・勝田ヶ丘志学館

(編) 八幡 成人

●リーディング編 (100点)

「三種の神器」を磨け！！

- ①語彙力の養成
- ②文法力の養成
- ③解釈力の養成



英語は絶対に裏切らないんだ！！

あっちも見ながら、こっちも見ながら、行ったり来たりの忙しさが特徴！

- ①情報の把握
- ②情報の並べ替え
- ③情報の組み合わせ

※時間配分は「配点×0.8」を目安に
解答時間の目安

★2021年1月実施の「共通テスト」(第1日程)による

第1問	A メッセージ	CEFRレベル A1程度 配点 4点	本文約140語	時間配分 3分
-----	---------	--------------------------	---------	------------

第1問全体の正答率は90%⇒絶対に落とせない問題！

《問題のねらい》 日常生活に関連した身近な掲示、カタログ、パンフレットなどから、自分が必要とする情報を読み取ることができる。

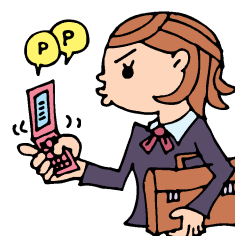
《★センター試験筆記第4問Bを易しくした問題》

1

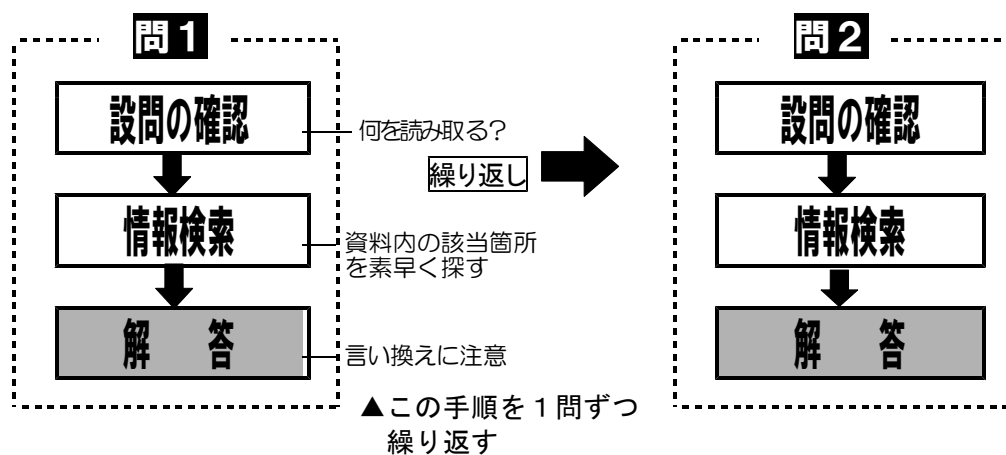
ココです！

分析力

判断力



- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握し、「何についての英文か？」をつかむ。
- ②設問文・選択肢から「何を探せばいいのか」を明らかにする(「キーワード」の設定)。
- ③「キーワード」を検索し(=キーワードと同等の内容)、周辺の内容を確認する=情報検索
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見(本文を言い換えたもの)



●探したいものを頭に入れて、それだけを英文の中から素早く見つけ出す！

- ①文書の見出しなどからテーマを把握 → ②設問と選択肢を素早く読んで、読み取るべき情報を確認 → ③本文中から答えを探しながら読む

必要な情報を素早く取得する！

第1問	B ウェブサイト	CEFRレベル A2程度 配点 6点	本文約240語	5分
-----	----------	--------------------------	---------	----

《問題のねらい》平易な表現が用いられている広告、パンフレット、予定表などから、自分が必要とする情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。

《★センター試験筆記第4問Bとほぼ同じタイプ》

ココです！

分析力

判断力

推測力



- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
 - ②太字のタイトル、見出し、項目から記事の概要をつかむ。
 - ③設問文・選択肢から「キーワード」を設定し、解答に必要な情報を把握する。
 - ④検索すべき場所を特定する。
 - ⑤該当場所内で「キーワード」を検索し、周辺の内容を確認する（＝情報検索能力）。
 - ⑥「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見＝本文を別の表現で言い換えたもの⇒見た目は違うが意味はほぼ同じ
- ※自分が必要とする情報を読み取り、書き手の意図を把握する。関係のない箇所はじっくりと読む必要はない。
 複数箇所を照合しないと答えられない設問もある。
 ※「注」や「補足」が解答にかかわる設問も。

キーワード = 名詞（句）・動詞がほとんど

文法知識と語法知識を頭に入れる！



「共通テスト」でも出題されるんだよ

第2問	A 評価表と評価	CEFRレベル A1程度 配点10点	本文約220語	6分
-----	----------	--------------------------	---------	----

第2問全体の正答率は71.5%

《問題のねらい》 友人、家族、学校生活などの身の回りの事柄に関して、平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、概要や要点を捉えたり、推測したり、情報を事実と意見に整理することができる。

《★センター試験筆記第4問Bとほぼ同じタイプ》

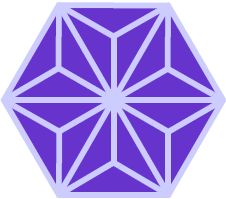
ココです！

分析力

判断力

推測力

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
- ②選択肢を「事実」(fact)と「意見」(opinion) にあらかじめ分別して、該当する選択肢を絞り込む。どの選択肢が「事実」を述べ、どの選択肢が「意見」を述べているかを確認しよう！sen
- ③絞り込んだ選択肢から「キーワード」を設定して、場所を特定して検索する。＝探し読み
- ④「キーワード」について「述べられている」選択肢を正解とする。＝本文を言い換えたもの
 - ※必ずしも問1から順に解く必要はない。簡単なものから片づけていく。
 - 問1→問2→問3…と易→難となっていくとは限らないので注意が必要。



●「事実」と「意見」に整理する新傾向問題

※正答率が落ちる



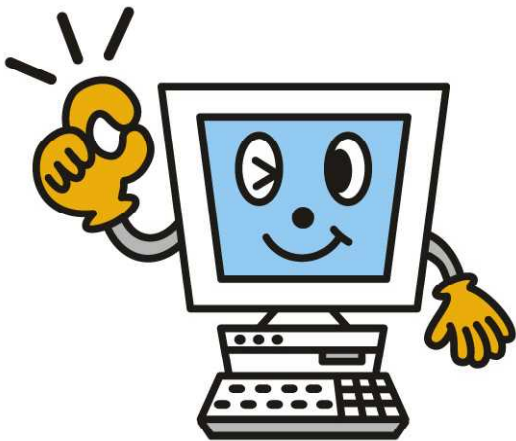
【事実】とは？ =客観情報 →数値で示せる ・本当にあったこと ・調査・実験・検証などで必ず確認できること ・世の中の多くの人が「そう」だと認識していること ・「正しい or 正しくないか」のどちらか	要確認
【意見】とは？ =主観情報 →書き手の考えや推測 ★主観的な形容詞・副詞や助動詞・動詞に注意！ ・自分の考え(憶測も含む) ・調査・実験・検証などで確認できないものもある ・世の中の多くの人が「そう」だとは認識していないこと ・「正しいor 正しくないか」を決められないこともある	

●両者をきちんと区別！

「事実」と「意見」などを区別して、理解したり伝えたりすることが求められている。

【練習問題】 次の記述は「事実」か「意見」か？判断せよ。

- ◎松江北高補習科にはかつて100人以上在籍していた。 【事実】
- ◎「めざましテレビ」のお天気お姉さん「かやちゃん」は早稲田大学・文学部出身だ。 【事実】
- ◎安倍首相はウソつきだ。 【意見】
- ◎八幡先生のお家のお風呂はすごい設備だ。 【意見】
- ◎松江北高の学食のメニューはしょぼい。 【意見】
- ◎新型コロナウイルスは収束した。 【意見】
- ◎松江北高よりも出雲高校の方がすごい。 【意見】
- ◎米子駅の職員は大変親切だ。 【意見】
- ◎松江市の人口は約20万人だ。 【事実】
- ◎八幡先生の電動自転車は高性能でよく走る。 【意見】
- ◎「樺坂48」はみんな可愛い。 【意見】
- ◎しばらくの間不要不急の旅行は自粛すべきだ。 【意見】
- ◎八幡先生の授業は大変わかりやすい。 【意見】
- ◎Mr.マリックのハンドパワーは人間離れしている。 【意見】
- ◎今では簡単に宇宙旅行ができる。 【意見】
- ◎新型コロナウイルスの影響で、新幹線も特急「やくも」も本数を減らして運転している。 【事実】
- ◎スマートフォンはとても便利な道具である。 【意見】
- ◎SNSを使う場合には注意が必要だ。 【意見】



- ◎金沢「兼六園」、岡山「後樂園」、水戸「偕楽園」が日本三名園だ。【事実】
 ◎「志学館」の初年度の進学実績は素晴らしいものであった。【意見】
 ◎志村けんは偉大な役者であった。【意見】
 ◎明日は真夏日になるかもしれない。【意見】
 ◎広島大学の入試ではリーディングとリスニングの配点比は1：1である。【事実】
 ◎日本で一番いい大学は、京大ではなく東大である。
 ◎「共通テスト」で高得点を取るには1日3時間以上勉強すべきだ。【意見】

第2問	B ウェブサイト	CEFRレベル A2程度 配点10点	本文約260語	8分
-----	----------	--------------------------	---------	----

《問題のねらい》友人、家族、学校生活などの身近な話題に関して、平易な英語で書かれた短い説明を読んで、概要や要点を捉えたり、情報を事実と意見に整理することができる。

《★センター試験第3問Bの発話者を削除したタイプ》

ココです！

分析力

判断力

推測力

表現力

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
 - ②タイトルから記事の概要をつかむ。
 - ③設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。
 - ④本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。
 - ⑤「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見＝本文を言い換えたもの
本文が伝えている意見のもととなる具体的な「事実」を読み取る。
- ※1つのパラグラフでは言いたいことを1つ述べる（one idea in each paragraph）のが英語の原則
 ※イギリス英語に惑わされない。

忘れずに！

段落冒頭

段落のテーマ…ココに注目！＝筆者の主張ズバリ

まずは言いたいこと(主題)をズバリ
 「つなぎ語」「意見表明のシグナル」に注意！

段落中盤

テーマを具体展開＝理由や具体例

詳しく証明（理由・具体例など）

段落終盤

まとめ・テーマ再確認…ココに注目！

「ね、わかった？」的なまとめ（省略される場合も多い）
 最初に述べた主張を別の表現で繰り返しまとめ結論とする

発言者の立場や意見を推理

- ・どのような立場の人物や団体などのものか？
- ・議論されているテーマに賛成か反対か？
- ・その判断の根拠は何か？

■センター試験には度々出題されていたので、出題の可能性はある

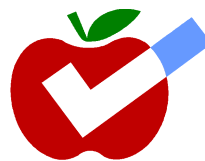
●語義類推

「文脈」から意味を類推！

必ず次のような「文脈」でテキスト中にヒントが提示されている。

①言い換え(同義語) ②具体例 ③対比(反意語) ④因果関係

解答を導く対応箇所は大半が下線部の前後にある。語彙力を問う問題ではない！



第3問	A ウェブサイト	CEFRレベル A1程度 配点 6 点	本文約250語	4分
-----	----------	---------------------------	---------	----

第3問全体の正答率は54.7%⇒差のつく問題

《問題のねらい》平易な英語で書かれたごく、短い物語を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、概要を把握することができる。

《★センター試験筆記第5問に類似》

ココです！

分析力

判断力

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
- ②設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。
- ③本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。イラストの情報にも注意する。
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。
- ⑤設問への解答 → 選択肢の根拠となる文をしっかりと確認しよう（＝原文典拠の法則）



第3問	B 記事	CEFRレベル A2程度 配点 9 点	本文約310語	7分
-----	------	---------------------------	---------	----

《問題のねらい》平易な英語で書かれた短い物語を読んで、概要を把握することができる。

《★センター試験筆記第5問に類似》

ココです！

分析力

判断力

《キーワード検索型》

- ①問題文冒頭の英文とタイトルで「場面設定」と「話題」を把握する。
- ②設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。
- ③本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する（「原文典拠の法則」）。

《時系列整理型》

※時系列に並べる問題はあらかじめ選択肢を読んでおく方が効率的

- ①選択肢を確認し、設問がスタートするシーンを特定する。
- ②「最初の変化」→「第2の変化」を特定する。
- ③残りの流れと選択肢を照合する。

※「感情表現」を整理しておくこと。（ラーンズ『重要問題演習』に一覧表あり）

本文の内容を正確に把握した後、その情報に基づいて、その「先」を推測させる問題は「共通テスト」の新傾向



■ イギリス英語について

- ㊤ 第2問・第3問にイギリス英語が出題された（多様性を意識）。第1日程では次のようなものが登場した。
- ・語彙：Head Student / Head Teacher / brilliant / underground / roadworks/ public transport
 - ・意味：brilliant（素晴らしい）
 - ・綴り：Mr / Ms / summarised/ realise / centre / learnt / organise
 - ・文法：suggest that ~ should V / 15 March 2021

気にならない程度のもものばかりでほぼ理解できるので、特別な対策は必要ないと思われる。



第4問

複数のメッセージと図表

CEFRレベル
B1程度
配点 16点

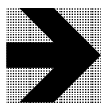
本文約450語

13分

第4問全体の正答率は72.5%

《問題のねらい》 比較的短い記事、レポート、資料などから、自分が必要とする情報を読み取り、論理の展開や書き手の意図を把握することができる。

《★センター試験第4問Aに類似。異なった筆者の文章を2つ



読ませる形式は2015年度までのセンター試験第5問に類似》

ココです！

分析力

判断力

推測力

表現力

※「グラフを読み取る力」&「複数の文書を読む読解力」 グラフ問題に頻出する語（句）を整理

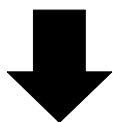
- ①冒頭の英文と図表のタイトルを読んで、「場面設定」と「話題」を把握する。
- ②設問文・選択肢から「キーワード」を設定する。
- ③「キーワード」を本文内で検索する。
- ④その周辺にある解答情報を確認する→正解選択肢の発見

重要



図表・タイトル・項目から
本文の内容を予測する

グラフの「タイトル」「項目」「単位」情報を見逃さない。
グラフの極端な部分に要注意！



答えるべき内容をつかむ
設問の先読み

何が問われているか？本文へ



資料を拾い読みする
情報検索

どこに書いてあるか？



■ 段落の重要なポイントはどこに書いてあるか？

重要

①最初と最後

②「しかし」の後

③疑問文（問題提起）

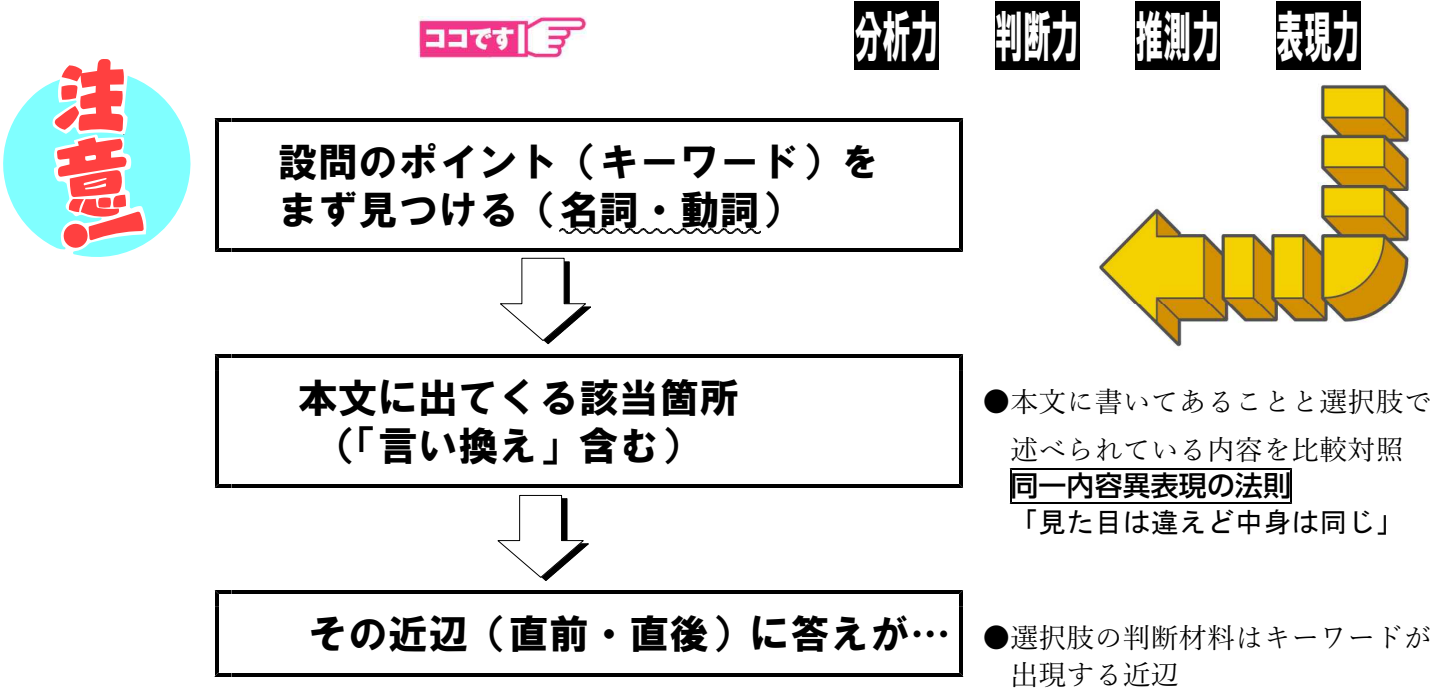
注意

第5問	物語（伝記）	CEFRレベル B1程度 配点 15 点	本文約660語	14分
-----	--------	----------------------------	---------	-----

第5問全体の正答率は58.7%

《問題のねらい》 短い物語を読んで、概要を把握することができる。

《★ポスターの内容を完成させるのはセンター試験第4問Aに類似
文章そのものは「伝記」であり第5問に、文体としては評論文に近いので第6問に類似》



第6問	A 説明文	CEFRレベル B1程度 配点 1 2 点	本文約620語	10分
-----	-------	-----------------------------	---------	-----

第6問全体の正答率は59.2%

《問題のねらい》身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する記事やレポート、資料などを読んで概要や要点を把握したり、情報を整理したりすることができる。また文章の論理展開を把握したり、要約することができる。

《★センター試験第6問に類似(段落に番号あり)》

ココです！ 分析力 判断力 推測力

- ①冒頭の英文とタイトルを読んで、場面設定と話題を把握する。
- ②設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。選択肢は先に読む必要はない。
- ③本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。段落ごとに概略をつかみ「一言メモ」しておくといよい。論理展開を意識して読むこと。
- ④「筆者の主張」は何かを探りながら読む。
- ⑤その周辺にある解答情報を確認する→正解選択肢の発見（正解は「言い換え」間違いは「すり替え」か「記述なし」

第6問	B 説明文	CEFRレベル B1程度 配点 1 2 点	本文約530語	10分
-----	-------	-----------------------------	---------	-----

《問題のねらい》身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する記事やレポート、資料などを読んで概要や要点を把握したり、情報を整理したりすることができる。また文章の論理展開を把握したり、要約することができる。

《★センター試験第6問に類似》

ココです！ 分析力 判断力 推測力

- ①冒頭の英文を読んで、場面設定を把握する。
- ②設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。設問はパラグラフ順に出現。段落ごとに「メモ」を取ろう
- ③本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。本文を読むのは一度だけ！「読みながら、解きながら」
- ④本文中に固有名詞が出てきたら□で囲み、数値と線で結んだり、比較関係を書き込みながら読むと整理しやすい。
- ⑤その周辺にある解答情報を確認する→正解選択肢の発見 「消去法」も活用
※グラフ・表は数字に注意！「何が?」「いつ?」「どのように?」変化しているかを追いかける。

《問われている力は??》

- (1) 情報を整理・分類し、事実と個人的意見を区別する力
- (2) 英文を要約する力 論理展開を把握する力
- (3) 与えられた情報から書き手の意図や話の流れを推測する力
- (4) 物語文を読んで、状況・登場人物の特徴・人間関係、話の流れ、概要を把握する力
- (5) 英文・図表・グラフなどの資料から必要な情報を読み取る力



問題の種類



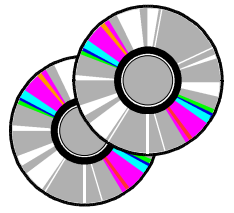
全体をざっくりと理解しているかどうかを試す問題

細かい部分までしっかり読めているかどうかを試す問題

英文の内容から推測できるかどうかを試す問題



●リスニング編 (100点)



重要

毎日少しずつでいいから英語に触れる、これが大きい！

●リスニング苦手な人の共通点は ①語彙力不足 ②絶対量不足 ③集中力不足！

鉄則 リスニング試験を受けるときの心構えは？「待ち受け」だ！

対策

- (1) 先に**選択肢**に目を通し、何を聞取ればよいのか「**情報の仕込み**」しておく
- (2) 余白に「**メモ**」を取って（特に**数字**）概要をつかむ。訓練が必要。
- (3) **読んで分からない英文**は聞取することは絶対に無理。知らない単語も絶対聞き取れない。語い力・文法力を鍛えるしかないのだ！**重要**
- (4) 英語の音に慣れるには**聞量**（練習）を増やすしかない。毎日少しずつ聞け！
音読英単語CD、教科書CD、NHK講座、VOA(<http://learningenglish.voanews.com/>)等
- (5) 日本人には聞き取りづらい音がある。 <消える><つながる><変わる>
これは慣れしかない！毎日少しずつ（絶対量）聞くしか手はない！**コツ、コツ！**

注意

◎第1問全体の正答率は70%

【第1問A】 短文発話内容一致《基本》

4点×4問=16点

15語程度

176wpm

★単一の人物の発話（10～20語と短い）が読み上げられ、それに最も近い意味の短い英文を選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い発話の聞き取りを通じて、情報を把握する力を問う。

分析力 判断力 推測力

①英語の音声の流れる前に、選択肢の「動詞以降」に注目して、どのような内容の英文かを予測しながら事前に読んでおく（先読み）。

※問題文の英文が流れる前に「指示文（問題の説明）」が流れるが、聞く必要はなし。

②1回目で「全体」を聞き、2回目で「細部」を（再）確認する、が聞き方の基本。

③発話内容の表す「状況」を素早くイメージしよう！

音声を聞いて、文法的に正しく判断して、話し手の意図を素早くイメージする

ここは満点を狙う箇所 基本中の基本

【第1問B】 短文発話イラスト選択《基本》

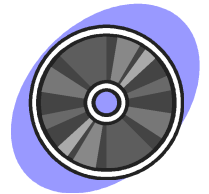
3点×3問=9点

15語程度

179wpm

★単一の人物の発話を読み上げられ、その内容を表すイラストを選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い発話を聞き、それに対応するイラストを選ぶことを通じて、発話内容の概要や要点を把握する力を問う。



分析力 判断力 推測力

①音声を聞く前に4枚のイラストの「対立点」「相違点」を事前に把握しておく→どのような説明がなされるかを予測

②1回目で流れが予測通りかどうかを確認、2回目で答えを最終チェックする。

③文法的に正しく聞き取る！

音声を聞いて、文法的に正しく判断する



文法・語法を問う問題が…

★1～2問難しい引っ掛け問題が…

◎第2問全体の正答率は83.8%⇒絶対に落とせない問題！



【第2問】 短会話イラスト選択《基本》

4点×4問＝16点

30語程度

168wpm

★2人による対話を読み上げられ、最後に質問の英文を読み上げられる。その答えとして最も適切なイラストを選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い対話を、場面の情報とイラストを参考にしながら聞き取ることを通じて、必要な情報を把握する力を問う。

分析力 判断力 推測力

①対話場面（日本語）「～について話をしています」とイラストから対話内容を予測する。イラストの相違点を素早くチェックしておく。

②1回目で流れが予測通りかどうかを確認し、2回目で答えを最終チェックする。

※問題冊子には対話の状況が日本語で書かれている。これを十分活用する。

③消去法も活用

④話の流れの中で情報の追加や打ち消し、修正などが行われるので注意。

満点を狙う！

場面の情報を参考にしながら必要な情報を聞き取る



ここから1回読み

【第3問】 短会話・Q&A選択《基本》

3点×6問＝18点

50語程度

150wpm

◎第3問全体の正答率は59.4%

★2人による対話（50語程度）を読み上げられ、その答えとして最も適切な語句や文を選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い対話を、場面の情報を参考にしながら聞き取ることを通じて、概要や要点を目的に応じて把握する力を問う。

分析力 判断力 推測力

①日本語による対話の場面の説明と、英語の設問文と4つの選択肢から、対話全体の進行を予測する。

②男性と女性が交互に発言する。それぞれの話者の意図や考えと、対話の流れを正確に把握すること。

③「キーワード」を拾うことを意識し、対話の「結論」を確認する。対話は1度しか読まれないので注意深く聞く。

④聞き取った情報から解答を選択できる問題と、発言内容から推測可能な解答を選ぶ問題。

場面の情報を参考にしながら、概要や要点を目的に応じて把握する



◎第4問全体の正答率は55.8%

【第4問A】 モノログ型図表完成

4点+1点×4問=8点

90語程度

130wpm

- ★単一の人物によるやや長めの発話（70～100語）が読み上げられ、聞こえてくる順番にイラストを並べ換える。
単一の人物によるやや長めの発話を読み上げられ、情報をもとに表中の4つの空所を埋める。

《問題のねらい》必要な情報を聞き取る、図表を完成させたり、分類や並べ替えをしたりすることを通じて、話し手の意図を把握する力を問う。



分析力 判断力

- ①音声を聞く前に、指示文と図表をよく見て、どのような内容の英文かを予測する。
- ②問題の情報から「キーワード」を設定する→「文章の中から何を拾わなければならないか？」
- ③比較表現・数量表現に注意して、メモをとりながら、表を埋めていく。
- ④解答のポイントは途中で修正することもあるので、注意が必要。
- ⑤与えられた情報から、直接解答を判断することができず、推論・思考する必要がある設問もあるので注意が必要。

数字や数の表現を聞き取り、比較したり、単純な計算をする

【第4問B】 モノログ型条件一致

4点×1問=4点

160語程度

148wpm

- ★4人の発話（50語程度）が順番に読み上げられ、指示された3つの条件をすべて満たす一つを選択する。

《問題のねらい》複数の情報を聞き、最も条件に合う選択肢を選ぶことを通じて、状況・条件に基づき比較して判断する力を問う。

分析力 判断力

- ①問題から「条件」を確認する。「状況」と「条件」を読む時間（約15秒）が与えられているので、音声を聞く前にしっかり読んで、どのような情報に注意して聞けばよいかを確認しておく。
- ②4人の発話は、アメリカ英語以外の英語でも話される。
※話者はアメリカ人、イギリス人、非ネイティブ — グローバル言語としての英語
- ③聞き取りながら表に「メモ」を書き込んでいく。
- ④聞き取った情報を比較して、特定の「条件」に合う・合わないを判断する。
- ⑤同じことを別の表現で述べている場合があるので注意。

複数の情報を聞き、状況・条件に基づき比較し判断する



◎第5問全体の正答率は55.3%

【第5問】 モノログ・ワークシート完成 内容把握

280語程度／40語程度

3点＋2×2問＋4×2問＝15点

120wpm

★単一の人物による長めの発話（270語）が読み上げられ、ワークシート中の空所を埋めながら、講義の骨子を把握する。

単一の人物による発話（40語程度）が読み上げられ、問1の情報および提示された図表を合わせて正しい内容を選ぶ。

《問題のねらい》身近な話題や知識のある社会的な話題に関する講義を聞きメモを取ることを通じて、概要や要点をとらえる力や、聞き取った情報と図表から読み取れる情報を組み合わせて判断する力を問う。

分析力 判断力 推測力

①「状況」「ワークシート」と問いおよび図表を読む時間（約60秒）が与えられているので、音声を聞く前に読んで、どのような内容の英文かを予測する。

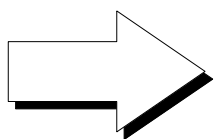
②「問われる箇所」や「選択肢の内容」を把握する。

③流れの把握はワークシートで放送と同時に目で追う→「聞き取る」べき情報を待つ。

④空欄に入る情報に集中する。適宜「メモ」を取りながら、講義内容を整理しながらワークシートの空欄を埋めていく。

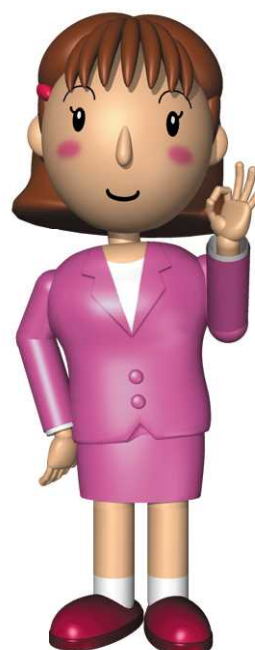
※耳と目から得た複数の情報を総合して、「どのようなことが示唆されるか？」を推測する思考力の問題。

メモ
①登場人物
②テーマ
③時系列



内容を再現する練習

社会的な課題に関する英文を聞き、聞き取った情報を図表から読み取った情報と組み合わせて判断する



◎第6問全体の正答率は35.7%⇒差がつく問題！



【第6問A】 対話文・Q&A選択

3点×2問＝6点

180語程度

156wpm

★2人によるやや長めの対話が読み上げられ、2人の主張の要点を把握する。

《問題のねらい》身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する会話や議論を聞き、話者の発話の要点を選ぶことを通じて、必要な情報を把握する力や、それらの情報を統合して要点を整理、判断する力を問う。

分析力 判断力

- ①各大問にある「状況」（1～3行程度）を必ずチェック。設問文・選択肢をしっかり読んで、どのような内容の英文かを予測→対話の状況・内容を把握でき、英文の理解度が増す。
- ②「賛成or反対」の把握と「なぜ？」の確認。
- ③全体の流れを聞き損なうことのないように。
- ④英文と選択肢の間で「言い換え」表現がしばしば登場するので、意味を的確にとらえて解答する。
※対話や議論を聞いて、各発話者の意見の要点を把握し、それらを比較する。
- ⑤途中で話し手が立場を変える場面もある。

必要な情報を把握して、それらを統合して要点を整理し判断する

【第6問B】 対話文意見選択

4点×2問＝8点

190語程度

125wpm

★4人による長めの会話が読み上げられ、反対意見を持っている人をすべて選択する。
会話のメインとなる人物の意見を支持する図表を選択する。

《問題のねらい》複数の人物による身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する会話や議論を聞き、それぞれの話者の立場を判断し、意見を支持する図表を選ぶことを通じて、必要な情報を把握する力や、それらの情報を統合して要点を整理、判断する力を問う。

分析力 判断力

- ①「状況説明」を読んで議論の内容を確認し、図表・イラスト選択肢のタイトルを確認する。
- ②一人一人の議題に対する主張が「プラス」なのか、「マイナス」なのか、どちらとも言えないのかを、整理しながら耳を集中する。放送が1回しかないので集中して聞くこと。
- ③話者の発言は途中で変わることもあり、「最終的にはどのような立場に立っているか？」を聞き逃さない。
- ④聞き取りの記憶と選択肢を照合する。
★第5問、第6問は話題に関する背景的知識を持っていると聞き取りの助けとなる。

複数の発話者の意見を比較検討し、賛成・反対、類似点・相違点を判断する

身近な話題、社会的な話題をよく知るために、新聞の一面や社説を読む習慣を！



《問われている力は??》_____

- (1) 短い単独の発話・短い対話の聞き取りに関して、発話の内容や意図を把握する力
(第1問A・B・第2問・第3問)
- (2) 説明・指示などの聞き取りに関して、聞き取った情報を基にグラフや表を完成させることを通じて、情報を整理したり話し手の意図を把握する力 (第4問A)
- (3) 複数の意見・自己宣伝などの聞き取りに関して、聞き取った情報を比較し、特定の条件・状況に合う・合わないを判断する力 (第4問B)
- (4) 講義・説明・意見などの聞き取りに関して、聞き取った情報と図表・グラフ・ワークシートなどから得られる情報を統合して、語義・説明・意見などの概要や要点を把握する力 (第5問)
- (5) 対話・議論などの聞き取りに関して、各人の発言の要点を整理し、比較する力 (第6問A・B)

—『思考力問題の研究 大学入学共通テスト対策編』(旺文社、2018年)



高得点への壁

●「1回読み」の壁

●会話の内容から状況を推測させる問題

●対話の途中で、話し手の意見が変わる問題

●複数の情報を統合して判断する問題(思考力)

●複数の情報から条件に最も合う選択肢を選ぶ問題(判断力)

